

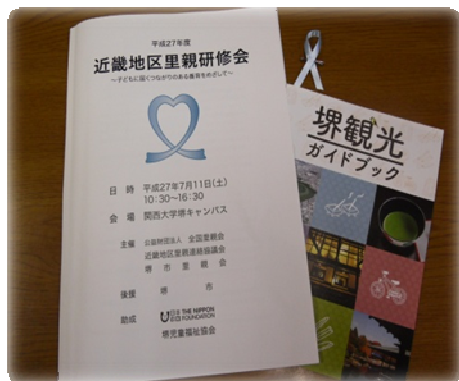
長雨が続き、梅雨明けが待ち遠しいですが夏本番までもう少しですね。皆様いかがお過ごしでしょうか。

奈良県の里親委託率が今年度4月末で15.5%となりました。委託率UPに伴い、細かな里親さんのニーズに気付けるよう里親支援員として努めていきたいと思えます。



## 近畿地区里親研修会に行ってきました！

7月11日（土）、大阪府堺市で近畿地区里親研修会が行われました。



### 基調講演「子どもに届く、つながりある養育」

子どもたちは様々な事情で「家庭」から「施設」、「施設」から「里親」など生活の場所が変わることがあります。子どもの歴史（育ち）を考える上で、生活の場所が変わっても養育者から養育者へと子どもの歴史を引き継ぎ、子どもが自分の歴史を語れるように支援していくことの大切さを勉強させてもらいました（阪口）。

### 第1分科会「真実告知・ライフストーリーを一緒に考えよう」

3つの里親家庭が真実告知について報告くださり、奈良県里親会からも発表いただきました。それぞれの里親家庭で成長に合わせた真実告知があり、子どもの反応も様々で対応に戸惑ったという話もありました。しかし、同じ里子同士が事情をわかりあって支えあうという様子もあり、里親家庭ならではの家族のつながりを感じる事が出来ました（阪口）。

### 第2分科会「発達に課題のある子どもの育ち・育てられ」

里子を預かるにあたって、発達障害や愛着障害の傾向があったり、両方を併せもっていることがあると思います。発達障害と愛着障害は一見、行動としては似ているかもしれませんが、根底が違います。発達障害に関しては、その子の特性を理解しようとし、養育者側のコミュニケーションを工夫することで、その子の考えや視点を知っていくこ

とができるとのことでした。今回のように勉強できる機会があるということが何よりも良いなと思いました（網島）。

## 休日おしゃべり広場・第二弾☆in 飛鳥学院

休日のおしゃべり広場・第二弾を飛鳥学院にて開催予定です！

ハロウィンの日に開催となります！特に狙ったわけではないのですが…(笑) ハロウィンらしいことが出来たら良いなあと思いつつ、まだまだ未定です(笑) 何か良いアイデアがありましたら、網島まで教えていただくと幸いです。お時間の都合がございましたら、ぜひご参加ください♪（網島）



10/31(土) 10:00~12:00



## その他の活動

里親認定前研修・更新研修への参加及び実習の受け入れ、里親さん宅への家庭訪問、委託里子との面会、入所児童の週末里親の調整、入所児童の里親制度利用検討、子ども家庭相談センターと里親さんとの情報交換会への出席、里親ネットなら会議への出席、啓発活動への参加、里親制度についての施設内研修

## ○連絡先○

社会福祉法人 天理  
児童養護施設 天理養徳院（阪口）  
〒632-0018  
天理市別所町715番地3  
TEL 0743-62-0371  
FAX 0743-63-5381  
メール satooya-shien@welfareitenri.com

社会福祉法人 飛鳥学院  
児童家庭支援センター あすか（網島）  
〒633-0053  
桜井市谷265番地4  
TEL 0744-44-5800  
FAX 0744-44-5811  
メール asuka-ga@gaea.ocn.ne.jp

## 編集後記

季刊誌「里親支援なら」をお読みいただき、ありがとうございます。  
今回、近畿地区里親研修会を主催していただいた堺市里親会では、里親制度のさらなる理解を求めため、「ベイビーブルーリボン運動」に取り組まれています。「ベイビーブルー」という言葉には、欧米では生まれてきたことへの感謝と生後の無事を祈るという意味があるそうです。



各地域での積極的な取り組みを参考に、奈良県でも里親啓発・里親推進活動の為、頑張っていきたいと思います（阪口）

## 里親支援専門相談員リーフレット

里親支援専門相談員について今以上に知っていただき、活用していただくためにリーフレットを天理養徳院より出させていただきます。

「こんなこと誰に聞こうかなあ」

「今の気持ちを誰かに話したいなあ・・・」

こんなとき、気軽にご連絡いただけたらと思います（阪口）。



※詳しい内容は、[奈良県里親会 HP](#) をご覧ください。

## お知らせ

この度、天理養徳院・里親支援専門相談員の担当変更がありましたのでお知らせいたします。



大変勝手ながら、今年度7月より出産のため休暇をいただくことになりました。関係機関・里親の皆様には、日頃から様々なお話をさせていただくことで、私自身が成長する機会をいただき、励まされることも多くありました。今後も、このような業務に就けた経験を大切に精進したいと思います。ありがとうございました。

天理養徳院：阪口 美和（さかぐち みわ）

## ＜後任を務めます！＞



里親家庭は、休日も休憩も無く、施設のように身近な専門職に相談するというのも、ほとんどないように感じます。それだけ、尊い役割であり、かつ、支援されるべき存在であると感じます。施設と里親とが協働し、社会的養護を必要とする子ども達の安心で安全な暮らし実現の為、そして、里親さんを応援できるよう、一生懸命頑張ります！

氏名：阪口 千晴（さかぐち ちはる）

年齢：31歳 性別：男性

特技：人前でしゃべること

資格：社会福祉士、精神保健福祉士、

中型自動車運転免許（マイクロバスの運転が出来ます）

## ☆「おしゃべり広場」休日企画☆

今年度の試みとして、休日のおしゃべり広場・第一弾を、6月20日（土）天理養徳院にて開催しました。今回は、父の日が目前ということもあり、普段なかなかお会いできない里父さんへの労いも込めた会にさせていただきました。

当日は、里父さん2名、里母さん4名、子どもさん1名の計7名に参加いただきました。

また、奈良市子育て相談課の課長さんも参加くださいました。簡単な自己紹介ののち、里父さん・里母さんグループに分かれ、近況も含めてそれぞれのご家庭の父の日・母の日についてお話いただきました。意外（？）にも父の日・母の日の習慣のあるご家庭は少なく、「子どもが小さい頃は幼稚園や小学校で作ったものを持ち帰ってきた記憶がある・・・」というお話が多く聞かれました。



またそれ以外にも養育の経験を通して感じたことを話していただいたことで、社会的養護について広く深く考える機会にもなりました。奈良市子育て相談課の課長さんからの貴重な意見も頂きながら、社会的養護を担う里親家庭の喜びや大変さについても話をすることができました（阪口）。



### 我が家の伝統（Jメンズ・パブリッシングより）

各ご家庭にそれぞれの習慣・文化があると思います。たとえば、誕生日のお祝いや、毎年恒例の家族旅行など。同じ誕生日の過ごし方でも家族みんなでケーキを囲む家庭もあれば、特に何もしないという家庭もあるかもしれません。何が良くて何が悪いということではなく、そういった家庭の習慣・文化は子どもの記憶に根付き、新しい家庭を築くときにはその文化が受け継がれていく・・・ということもあるかと思います。

我が家の習慣・文化はなぜ始まったのか、どんな思いが込められているのか。家庭の中でそんな話をしてみる機会も面白いのではないのでしょうか。

